

# ふくしの森ステーション

## みなみこまだより



所在地：上畑202番地（南高麗福祉センター内）

電話：978-9783

メール：station-minamikoma@hannosyakyo.or.jp



## 5年、10年先の南高麗を考える

～ふくしの森 地区別懇談会の報告～



総勢34名の皆さんの参加のもと“より住みよい南高麗”を目指して、少人数のグループに分かれて意見を出し合いました。

参加者は、南高麗にお住まいの方やお勤めの方、何らかの活動をされている方を中心に、「南高麗の宝」、「課題」、「対応策」について、日頃感じている意見を出し合いました。

対応策としては、「有償のボランティア」、「たすけあいの移動交通の取組み」等について活発な意見交換をすることができました。

いただいたご意見は現在策定中の“第3次はんのうふくしの森プラン”に反映させていただきます。



懇談会当日の様子



少子高齢化や人口減少に伴う様々な問題に負けず、力を合わせて住み慣れた南高麗を守っていきましょう！

これから、地区別地域福祉活動計画（向こう5年の間に、南高麗で“これだけは実現しよう”という重点項目）をつくります。

検討にご参加いただける方は、5月31日までにふくしの森ステーションまでご連絡ください♪

“はんのうふくしの森プラン”とは…

“住民の皆さんと市と社協が力を合わせて、誰もがずっと住み続けたいと思える地域をつくっていこう”という計画です。

「住みよい地域をつくっていくこと」＝「地域福祉」について、来年3月を目途に第3次計画の策定を進めています。

飯能市社協の取組みも、このプランに基づいて進めています。

～裏面へつづく～

1  
ご存じですか？

## “社協”と“ふくしの森ステーション”のこと

Q. 社会福祉協議会（社協）ってなに？

A. ふだんの生活の中で、ひとりでは解決できない様々な生活上のお悩みや、お住まいの地域で生じている問題等について、地域の皆さんとともに考え、解決に向けて取り組む“たすけあいの地域づくり”が社協の仕事です。



Q. どのようにたすけあいの地域づくりを進めているの？

A. ボランティアや福祉関係に限らない様々な事業所、行政等と連携して、皆さんの暮らしをサポートしています。例えば、ボランティアをしたい人、ボランティアをしてもらいたい人を結びつけるなど、**行政的なサービスだけでは解決できない課題に対応しています。**

Q. ふくしの森ステーションってなに？

A. 地域の“何でも相談窓口”です。社協のコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が水～金曜日に常駐し、一緒に問題解決に取り組みます。

**悩んでいること、不安に感じていることがありましたら、どんなことでもご相談ください。**（不在にしている場合もあるので、表面上段の連絡先までお電話の上、お越してください。また、直接お越しいただくのが難しい場合は、CSWが訪問してお話しを伺うことも可能です。）

### CSWから一言



新年度も始まって早1ヶ月が立ちましたが、年度の変わり目に頑張りすぎて、5月病にかかってしまったという人もいます。そんな時にはのんびり日光浴や森林浴を楽しむのがよいそうです。私もたまには南高麗の中をのんびりお散歩でもしてみたいと思います。

次回の“ふくしの森ステーションみなみこまだより”は7月1日に発行します。  
自治会の皆様、配布にご協力いただきありがとうございます。